

令和8年度入学試験問題

情報学部

総合型選抜 I

小論文

(注意事項)

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはならない。
2. 問題は全部で2ページある。落丁・乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ること。
3. 別に解答用紙が2枚および下書き用紙が2枚ある。
4. 文章はすべて解答用紙の指定された箇所に横書きで記入すること。
5. 受験番号は解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答時間は90分である。
7. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

問題 1 次の文章は、『日本経済新聞(2023年4月6日電子版)』からの引用(一部抜粋・一部改変)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

2025年国際博覧会(大阪・関西万博)は決済手段を全面的にキャッシュレス化する。決済手段の一つとして独自のスマートフォンアプリを導入し、同時にポイントサービスも始めて来場促進に活用する。会場内の売店やレストランといった事業者が多様な決済方法に対応できるのか、また来場者が不便を感じないようにできるのが課題となる。

大阪・関西万博の運営主体である日本国際博覧会協会が6日、万博会場内の決済手段を原則キャッシュレスとする方針を打ち出した。目玉となるのが決済アプリ「EXPO2025 デジタルウォレット」*1だ。アプリには銀行口座やクレジットカードから電子マネーをチャージでき、利用額に応じてポイントが付与される。大手金融機関などがアプリの開発・運営を担当する。アプリは万博の会期前でも協賛する店舗などで使えるようにする。ポイントサービスでは、たまったポイントを万博の入場券や記念品などと交換できるようにする。万博への参加の動機づけにしたい意向だ。会場内ではアプリ以外にも、クレジットカードや交通系IC、QRコード決済などが使用可能となる。約60種類の決済手段が使用可能となる見通しである。海外の決済事業者にも参加を呼びかける。

会場内の売店やレストランのほか、キッチンカーにおいても全面的にキャッシュレス化する。事業者は釣り銭の準備など現金の管理コストが削減できる一方、多様な決済手段に対応するため従業員への教育など追加費用の増加が見込まれる。協会の担当者は「事前の説明会や研修をおこなうことでサポートをしていきたい」と説明する。キャッシュレス決済に不慣れな高齢者などにとっては来場への抵抗感につながる可能性もある。協会はこの不安を念頭に、キャッシュレス決済の方法などを案内する相談所を会場内へ設けることを検討している。また、現金以外の決済手段を持たない人を想定してプリペイドカードを会場内でも使えるようにすることも考えている。

大阪・関西万博は2025年4月から6カ月間開催され、期間中には1日15万～16万人程度の来場が予想されている。協会は会場を日本のキャッシュレス推進のための実証実験の場として位置づける。

*1 会期前から利用者に参加いただけるプログラムとして「つかう／ためる／あつめる」機能と「つながる」機能がある。(EXPO2025公式ページから)

日本経済新聞 電子版・2023年4月6日 (許諾番号 001999)

設 問

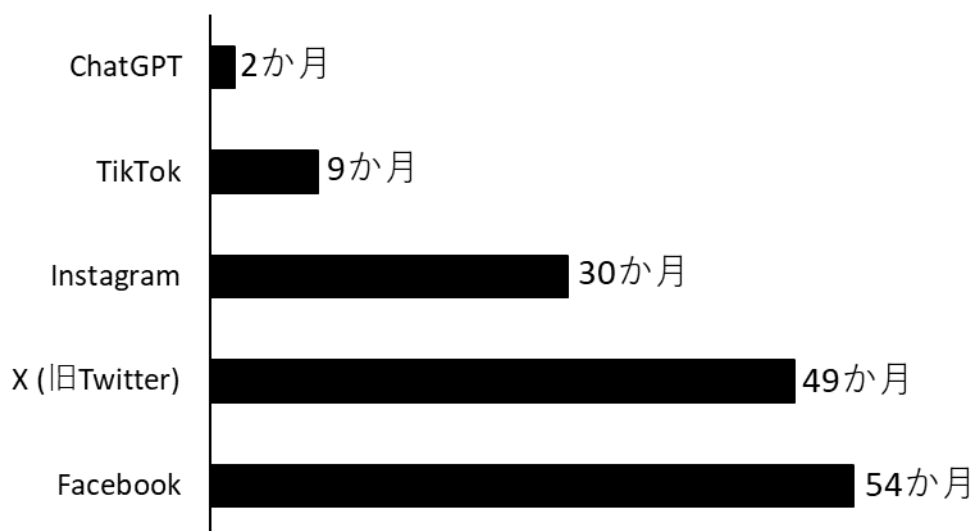
問1 この文章に代表されるようなキャッシュレス決済は、万博開催においてどのような課題が解決できるか、120字以内で書きなさい。

問2 この文章に代表されるキャッシュレス決済やアプリは、さらにどのような発展をもたらしうるのか、またこのようなICTの導入が引き起こすかもしれない社会的不安や問題をどのように解決すべきか、この2点について、あなたの考えを240字以内で書きなさい。

問題2 次の文章は、『令和 6 年版 情報通信白書』からの引用(一部抜粋・一部改変)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

生成 AI の急速な進化と普及

ディープラーニングの基盤技術により、AI の性能が飛躍的に向上したことで、様々なコンテンツを生成できる AI が誕生した。「生成 AI」は、テキスト、画像、音声などを生成できる AI 技術の総称であり、2022 年の OpenAI による対話型 AI “ChatGPT”の発表を契機に、特に注目された分野である。ChatGPT は、わずか5日で100万ユーザーを獲得し、さらに公開から2か月後にはユーザー数が1億人を突破するという、これまでのオンラインサービスなどと比較しても驚異的なスピードでユーザー数が拡大している(図参照)。OpenAI 以外にも、大手企業からスタートアップ企業まで多くの企業が生成 AI の開発を発表し、世界的な開発競争が起こっている。



図： 各種サービスにおける1億ユーザー達成までにかかった期間

設問

問 オンラインサービスのユーザー数が、公開後の日数の二乗に比例すると仮定した場合、ChatGPT における比例係数は、Instagram における比例係数の何倍と考えられるか、図を参照して計算しなさい。なお、1か月の日数は全て同じと考えて良い。

また、ChatGPT に代表される生成 AI に関しては、有用性だけでなく危険性も指摘されている。一例として、本物そっくりで作成されたフェイク画像・フェイク動画は、既に社会的な問題となっている。フェイク画像・フェイク動画に関して、あなたが問題だと考える具体的な事例を一つ上げ、その理由について120字以内で説明しなさい。